

# 和地ひとみレポート No.394

令和3年第2回市議会臨時会

## 任期後半2年の新たな議会人事が決定



### ■市議会臨時会を開催し議会人事を一新

…5月24日、東大和市議会臨時会が開催されました。臨時会とは、年に4回開かれる定例会とは別に、特定の事柄のみを審議するために随時招集される議会です。市議会の招集権は、通常、市長に専属していますが、議会運営委員会の議決を経た場合は議長から臨時会の招集請求を市長に出すことができ、また、議員定数の4分の1以上の者から招集請求があった場合についても市長は20日以内に市議会を臨時招集しなければならないことが自治法で定められています。

…実はこの市議会臨時会については、昨年度から新型コロナウイルス感染症対策に関連した補正予算などを審議する必要が多く発生し、例年以上に市長は招集している状況です。しかし今回の臨時会は、議会運営委員会の議決を経て議長から臨時会の招集請求を市長に出して開催されたものでした。

…議長から市長に臨時会の招集請求を出した理由は、市議会の人事の変更を行うため。東大和市議会は、議会人事を任期4年間で固定せず、より多くの議員に様々な役割を経験させるという合意のもと、任期前半の2年が終了した任期折り返し時点で、議長をはじめとしたすべての議会人事を見直すことを慣例としています。

…議会人事については、議会内の選挙で決定するものと、議長からの選任で決定するものがあります。また、議会から出す市の監査委員1名については、市長提案に対する議会の同意が必要で、それらの手続きは議会を開催して行わなければなりません。また、議会人事一新するために、辞職が必要な役職については形式的に辞職届を提出し、それにより必要が生じたことという前提で、新たな議会人事を決定するという流れを取ることになっています。

…今任期前半2年、私は市の監査委員を務めさせていただきましたが、上記の手続き上の流れに沿って、この臨時会の日付で辞職届を出し、その役目を終了させていただきました。

### ■議長の役割と選出方法

…二元代表制である地方自治において、その一翼を担う市議会のトップである議長は、市長と並ぶ重要なポストです。議長は市議会本会議の議事進行を統括することはもちろんのこと、様々な権限も持っています。例えば、ある事案に関する採決で賛成・反対が同数の場合は議長決裁で決定。また、議員の活動の多くについては、議長への事前の報告と議長の許可が必要ですし、議事運営を公認する書類である「議会議事録」の作成についても、規定上は議長が議会事務局に作らせるものとされています。

…さらに、『東大和市議会』としての活動や、新たに議会内のルールを作る際などは、そのための議論の場を持つかどうかについて等、大きな方向性は議長が決定することに。

もちろん、議長も多くの場合、決定前に、議員から意見聴取しますが、議会の取組や運営に、その時々の方針の考え方や姿勢が大きく影響することは間違いありません。

…このような重要な職である議長については、議会内の選挙で決定されます。議長選挙については、事前に開催される各会派の代表者と会派無所属の議員で構成されている『代表者会議』において、議長職への立候補者の有無を確認。立候補者が複数の場合は選挙となりますが、立候補者が1名の場合も、その信任についての投票を行うこととされています。

### ■今回は異例の議長選に

…前述のとおり、議長は議会内の選挙で選ばれます。東大和市議会の場合、数年来、会派所属議員数が多い会派（＝大会派）である自由民主党会派と公明党会派から交互に議長を選出するということが慣例です。

…選挙で選ぶのですから、会派に所属していない無所属の議員が立候補しても良いのですが、会派とは同じ考えを持っている議員のグループなので、大会派から議長候補を出せば、最初から会派所属議員の応援＝票は確保できるため、大会派から議長を出すということはある意味、自然の流れとも言えます。また、大会派は所属議員が多い＝市民からの支持も多いとも考えられるため、大会派から議長を選ぶということは、この点でも理にかなっているとも言えます。

…今任期前半の2年の市議会議長は中間 健二議員（会派：公明党・当選回数5回）。前述の慣例では、後半2年の市議会議長はもう一つの大会派の自民党会派から選出されることになりましたが、今回は、以下の流れで自民党会派が大会派ではなくなったこともあり、慣例通りの議長選とはなりません。

◆大会派以外の議員複数から推され、正和会代表の関田 正民議員（当選回数6回）が議長選への立候補を表明。

↓  
◆自由民主党会派から立候補する予定だった蜂須賀 千雅議員（当選回数4回。前副議長）が、立候補を辞退。

↓  
◆会派メンバーとの相談無く、蜂須賀議員が立候補を辞退したこと等により、中村 庄一郎議員（当選回数：5回）と木下 富雄議員（当選回数1回）が自由民主党会派から離れて、会派無所属議員になった。（自民党会派所属議員が5名から3名となった）

↓  
◆最終的な議長選立候補者は以下の2名となった。  
①関田 正民議員  
（当選回数6回・会派：正和会・会派所属議員2名）  
②床鍋 義博議員  
（当選回数3回・会派：やまとみどり・会派所属議員3名）  
（裏面に続く）

## ■新議長は関田 正民議員

…議長選については、立候補者が自身の考えを議員に示すため、立候補表明演説を行います。立候補表明演説は、制限時間5分、演説の順番はくじ引きで決定。その演説内容に対して、各会派代表ならびに無所属議員が2回まで質問できる形になっています。

…今回の議長選挙において、最初に立候補表明演説を行った床鍋議員の表明演説の内容は、「大会派が少数意見を取り上げないようなことがあった。これは大人のいじめのようだ。市議会を変えたい。」といったもので、しっかりとご自身の考えを述べられていたものの、少しネガティブな内容と感じました。後から演説をした関田議員の表明演説の内容は「議長は議会の顔なので、議員の皆さんの恥にならないようにルールにのっとって議会運営をする」「新たに導入されるタブレット端末については、議員の皆さんの意見を取り入れ活用できるように進める」「新型コロナウイルス感染症のため一時中止となっている“市民の声を聴く会”については、ワクチン接種が進んだ秋ごろ、再開の目途が立ったら開催できるように今から準備を進めたい」といったもので、これから先の議会運営に対する内容でした。

…両名の立候補表明演説に対する質問はなく、その後、選挙を行った結果、床鍋議員9票、関田議員10票、無効票2票で、関田正民議員が新たな議長として選ばれました。

…議長に立候補することを決定した後、通常、候補者は各会派に応援依頼をします。投票は無記名で行われるとはいえ、東大和市議会の議員数は21名(定数は22名。1名欠員状態)という中、前述の通り、同じ考えの議員のグループの会派で議長候補のどちらを応援するかを決めるため、どの会派が誰を応援したのかは、全議員わかっているというのが実情です。新議長となった関田正民議員は私の会派の代表なので、私は当然、関田議員を応援。その他、公明党会派(5名)、興市会会派(2名)、会派無所属の実川圭子議員が関田議員を応援してくれたため、本人票を含め10票獲得となりました。

…一方、床鍋議員については、自身の所属する会派やまとみどり(3名)、日本共産党東大和市議団会派(3名)、自由民主党会派(3名)の9名が応援。床鍋議員は立候補表明演説で述べた内容について、具体的な案件名は触れられませんが、その内容から、ある陳情の取り扱いについてのことを指していることは明白でした。

…床鍋議員の所属する会派と日本共産党東大和市議団会派と無所属議員の主張や意見に対し、いわゆる大会派である公明党会派、自由民主党会派と、その他の会派の意見は違い、多数決で大会派の主張が採用される結果に。よって、床鍋議員が疑問を呈している対象には、自由民主党会派も含まれますが、自由民主党会派は日本共産党東大和市議団会派とともに床鍋議員を応援。自由民主党会派は、当時の自らの主張と反した行動を取ったとも言え、自由民主党会派としては説明困難な事態だと感じました。

…一方、無効票(≒白票)については、臨時会の目前に、自由民主党会派から出て、会派無所属になった中村議員と木下議員のものということとなります。

## ■その他の人事は…

### 市議会の本来の役目を忘れずに…

…今回の臨時会では、その他の市議会常任委員会のメンバー並びに正副委員長を決定。また、一部事務組合などの外部の組織への派遣議員や市の審議会に市議会から出席する委員の選任なども行われました。

…また、副議長については佐竹康彦議員(当選回数3回・会派:公明党)のみが立候補。信任投票が行われた結果、信任20票、無効票1票という結果で、佐竹議員が副議長に選任されました。そして、私が前期2年務めさせていただいた市の監査委員については、二宮由子議員(当選回数5回・会派:興市会)が選任されました。

…今回の議会人事の議長選挙では紆余曲折ありましたが、今任期後半2年の市議会のその他の人事は、ほぼ通常通りの流れで決定されました。

(市議会常任委員会メンバーは下記表のとおり。委員会の正副委員長は各委員会の中で互選により決定)

…そもそも市議会議員とは、市政を監視するとともに、より良いものにするために選挙を経て、市民からの負託を受けたメンバーです。そうした議員が集まる市議会にも、組織的にこの市議会議員の本来の役目を発揮するための努力・工夫が求められており、そのためのあるべき姿にする一環が議会人事だと思えます。

…今回の人事で、私は市議会常任委員会の総務委員会委員長を仰せつかりました。同じ会派から選出された関田正民新議長を支え、新型コロナウイルス感染症対応、そして、コロナ後の市政の発展等、新たな課題に直面している市政をより良いものとするための一翼を担う市議会となるよう、私も尽力したいと思えます。

## 【今回決定した市議会常任委員会】

◎=委員長 ○=副委員長

	総務委員会	厚生文教委員会	建設環境委員会
公明党	佐竹康彦 中間建二○	木戸岡秀彦◎ 東口正美	荒幡伸一○
自由民主党	蜂須賀千雅	根岸聡彦	森田博之
日本共産党 東大和市議団	森田真一	上林真佐恵	尾崎利一
やまとみどり	床鍋義博	中野志乃夫	大川元
興市会	大后治雄	-	二宮由子
正和会	和地仁美◎	-	関田正民
無所属	-	実川圭子○ 中村庄一郎	木下富雄◎

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元氣印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動。同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経 WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102